

# Hello! FUJISEI

No. 303

少子化問題は、社会経済の根幹を揺るがしかねない大きな課題となっています。

総務省統計局は毎年、5月5日の「こどもの日」にちなんで、我が国のこどもの数（15歳未満人口）を推計し、発表しています。

平成28年4月1日現在におけるこどもの数は、前年に比べ15万人少ない1,605万人で、昭和57年から35年連続の減少となり、過去最低となりました。男女別では、男子が822万人、女子が782万人で、男子が女子より40万人多く、女子100人に対する男子の数（人口性比）は105.1となっています。

こどもの割合は、昭和25年には総人口の3分の1を超えていましたが、第1次ベビーブーム期（22年～24年）の後、出生児数の減少を反映して低下を続け、40年には総人口の約4分の1となりました。

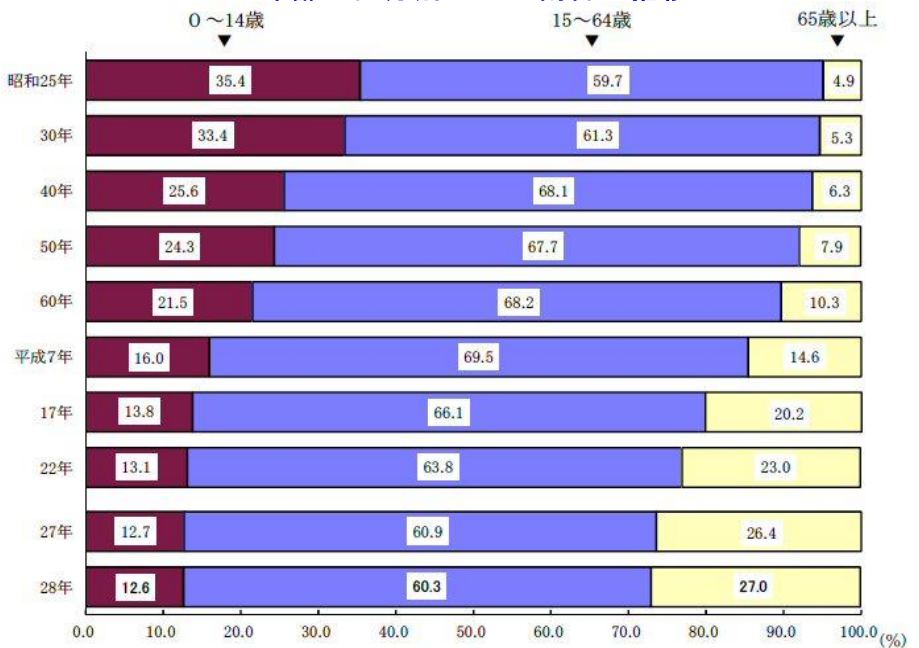
その後、昭和40年代後半には第2次ベビーブーム期（46年～49年）の出生児数の増加によってわずかに上昇したものの、50年から再び低下を続け、平成9年には65歳以上人口の割合（15.7%）を下回って15.3%となり、28年は

## 我が国の子ども～進む少子化～

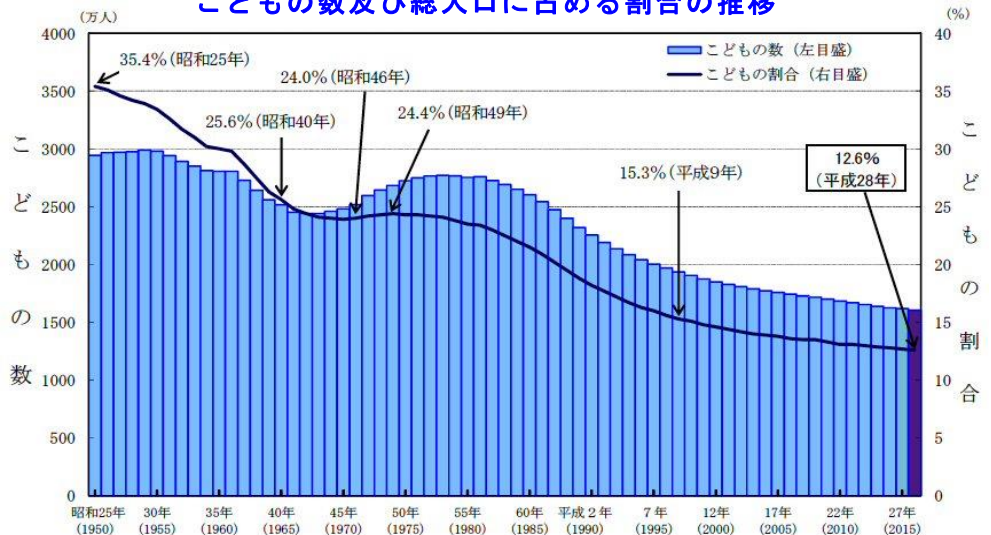
# 35年連続で数が減少 割合は42年連続低下

12.6」%（前年比0.1ポイント低下） どもの割合は、昭和50年から42年連続で過去最低となりました。なお、こ 続して低下しています。

年齢3区分別人口の割合の推移



こどもの数及び総人口に占める割合の推移



資料：「国勢調査」及び「人口推計」

注) 平成27年及び28年は4月1日現在、その他は10月1日現在

総務省統計局「我が国のこどもの数」(人口推計)より

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20  
神谷町MTビル